

# News Release



## 志賀原子力発電所 1号機における 9 × 9 燃料の採用等に関する事前了解について

平成12年12月22日  
北陸電力株式会社

当社は、志賀原子力発電所 1号機における 9 × 9 燃料の採用等について、「志賀原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書」第 6 条に基づき、石川県、志賀町及び富来町と協議を行ってまいりましたが、本日、石川県、志賀町及び富来町より事前了解をいただきました。

### < 添付資料 >

- (1) 別 紙 ・ ・ 「原子炉施設の変更の内容、これまでの主な経緯、今後の予定」

以 上

## 1. 原子炉施設の変更の内容

### (1) 9 × 9 燃料の採用 (1号機)

使用済燃料発生量低減の観点から、従来型燃料(高燃焼度 8 × 8 燃料)に比べ、燃料に含まれるウラン235の平均濃縮度を増加させることにより、長期間燃料を燃焼させることが可能な、高燃焼度化を図った 9 × 9 燃料を 1号機の取替燃料として採用する。

9 × 9 燃料には、燃料設計メーカーの相違により、A型とB型の二つのタイプがある。なお、2号機でも 9 × 9 燃料(A型)を採用済である。

### (2) 使用済燃料貯蔵プール貯蔵能力の増強 (1号機)

1号機の使用済燃料貯蔵ラック材料に、中性子吸収能力が優れているボロン(ほう素)を添加したステンレス鋼を用いて稠密化を図り、1号機の使用済燃料貯蔵プールの貯蔵能力を増強する。

これにより、1号機の使用済燃料貯蔵プールの貯蔵容量を、全炉心燃料の約285%から約480%に変更する。

なお、2号機でもボロンを添加したステンレス鋼を用いた使用済燃料貯蔵ラックを採用済である。

### (3) ハフニウムフラットチューブ型の新型制御棒の採用 (1号機)

1号機について、これまで採用していた制御棒に加えて、新たに偏平型のハフニウム管を用いたハフニウムフラットチューブ型の新型制御棒を採用する。新型制御棒の基本構造、制御能力、質量等の基本仕様は既に採用されている制御棒と同等である。

なお、2号機でもハフニウムフラットチューブ型の新型制御棒を採用済である。

## 2. これまでの主な経緯

平成12年2月7日 原子炉設置変更許可申請

石川県、志賀町及び富来町に安全協定に基づく協議の申し入れ

平成12年12月5日 原子炉設置変更許可

平成12年12月22日 石川県、志賀町及び富来町より事前了解

## 3. 今後の予定

### (1) 9 × 9 燃料

第7回定期検査(平成13年度)に装荷予定

### (2) 使用済燃料貯蔵プール貯蔵能力の増強

平成14年度に発電所での工事開始予定

### (3) ハフニウムフラットチューブ型の新型制御棒

第9回定期検査(平成16年度)以降に採用予定

以上